

(様式 2)

2023年9月14日

### 女性の就農環境改善計画

(令和5年度女性の就農環境改善支援事業)

|                    |                     |   |
|--------------------|---------------------|---|
| 実施するメニュー<br>(該当に○) | 第4の(1) (施設等確保の取組)   | ○ |
|                    | 第4の(2) (グループの新たな取組) |   |

#### 1 地域取組主体の概要

|              |  |                 |
|--------------|--|-----------------|
| 名称           | 有限会社 中尾園芸  |                 |
| 所在地          | 奈良県生駒郡平群町福貴畑904番地  |                 |
| 代表者          | 中尾 行利  |                 |
| 主な組織の事業内容(注) | 小菊・花木の生産・販売・加工<br>従業員数15名(うち女性9名)<br>経営規模6.5ha(品目:小菊5.5ha、花木1ha)<br>小菊、花木のパック加工<br>フレックスタイム制 | 女性農業者の<br>人数:9名 |

(注) 主な組織の事業内容は、具体的に記載する。

#### 2 事業実施体制

|   |
|---|
| 奈良県農業法人協会と密に連絡を取り、必要な場合、他社を紹介または提携させてもらう。<br>奈良県農業会議と密に連絡を取り、必要な場合、関係各所と提携する。 |
|---|

(注) 実施に必要な関係機関との実施体制を記載する。

### 3 女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための取組計画（実績）

#### （1）地域取組主体における女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題（注）

##### 【社会情勢等を踏まえた地域の女性農業者の課題】

小菊・花木の生産面積の拡大に向けて、積極的に女性の雇用を増やしていきたい考え。

地域では、JAならけんが主導して、生産振興を行っているが、近年の資材価格の高騰や生育不順等により安定的な出荷体制がとれていない。また、当社においても時給を含めた労働環境の整備へ投資することが難しく、女性の確保が難しい状況

##### 【現状の労働環境を踏まえた施設等の必要性（既存の施設等の利用状況を含む）】

露地栽培がメインの為、天候により、着替えが必要であるが、更衣室が無い為、女性スタッフから要望があった。

遠方から来られている、または子育て中の女性スタッフが一時帰宅しなくても急遽の予定変更にも対応可能。

繁忙期である夏場は暑さ対策で昼の休憩時間が長くあるが、休憩スペース兼更衣室があると、女性スタッフに働きやすい環境を提供できる。

求人をする際、休憩スペースや更衣室の問題で、なかなか採用できなかったが、労働環境の良さをアピールし、女性スタッフを積極的に採用できる

##### 【その他女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題】

花卉産業は他産業より、さらに言えば同じ農業の中でも機械化や女性に対しての対応、環境整備が遅れている。

支援策においても食べ物が優先的であり、嗜好品である花はまだまだ手が回っていないのが現状である。

他では当たり前になっている労働環境の整備を行っていく必要がある。

（注）（2）、（3）の取組に係る具体的な課題を記載する。

(2) 女性の働きやすい環境を整備するための託児スペース、男女別トイレ、更衣室等の確保にかかる計画（実績）

| 確保する施設等の区分   |      | ①託児スペース ②男女別トイレ ③更衣室 ④休憩スペース<br>⑤アシストスーツ、高さが調節できる作業台等の備品の確保 ⑥その他 |    |                              |             |       |    |
|--------------|------|--|----|------------------------------|-------------|-------|----|
| 区分番号<br>(注1) | 時期   | 確保場所   | 数量 | 利用する<br>女性農業<br>者の人数<br>(注2) | 事業費<br>(千円) | 国庫補助金 | 備考 |
| ③、④          | R5.6 | 出荷施設（130<br>m <sup>2</sup> ）の横                                   | 1  | 9名                           | 1,999       | 1,818 |    |
| 計            |      |  | 1  | 9名                           | 1,999       | 1,818 |    |

(注1) 「確保する施設等の区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。また、⑤又は⑥を選択した場合は、確保する施設等の名称も記載すること。

(注2) 農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された者を含む）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事のものとする。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含む。（3）において同じ。

(注3) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

(3) 女性農業者グループの立ち上げ、グループ活動の開始又は発展のための新たな取組にかかる計画（実績）

| 取組区分         |    | ①商品等開発 ②先進地視察 ③会員募集・農業体験の受入等にかかる取組<br>④研修会 ⑤マルシェ開催に向けた取組 ⑥その他 |          |                      |             |       |    |
|--------------|----|---|----------|----------------------|-------------|-------|----|
| 区分番号<br>(注1) | 時期 | 内容  | 実施<br>回数 | 参加する<br>女性農業<br>者の人数 | 事業費<br>(千円) | 国庫補助金 | 備考 |
|              |    |   |          |                      |             |       |    |
|              |    |   |          |                      |             |       |    |
| 計            |    |   |          |                      |             |       |    |

(注1) 「取組区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。

(注2) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

**【事業成果及び今後の展開】**

※第4の(2)「グループの新たな取組」のみ記載

※区分番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品づくりに関しては、翌年度以降の販売事業計画も併せてご記入ください。

| 区分番号 | 事業成果、今後の展開 |
|------|------------|
|      |            |
|      |            |
|      |            |
|      |            |

**4 本事業を活用した取組計画 (注)**

| 時期 | 取組内容・回数  | 備考                 |
|----|--|--------------------|
|    | <p><b>【女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための応募団体における取組（既存の取組を含む）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フレックスタイム制を採用。</li> <li>・ 奈良県農業会議や奈良県農業法人協会での勉強会、視察に積極的な参加を促し、社内だけでなく、社内外での女性ネットワークを形成している。</li> <li>・ 取締役でもある中尾静子は、積極的な社内外への取組により、奈良県農業法人協会副会長、また指導農業士に選定された。その取組・実績を評価され、奈良県で初の女性指導農業士会会長となった。</li> <li>・ 県内農業大学校や農林水産省からの新人研修を受け入れた過去がある。</li> </ul> <p><b>【本事業を活用した取組の実施方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当社では、販売先から毎年、小菊・花木の生産規模拡大を求められている。生産管理部門では、花のきめ細かい管理を女性スタッフが行っており、出荷部門においてはほぼ女性スタッフが行っている。今後、販売先からの期待に応えていくためにも、生産拡大は必要であり、収穫期や繁忙期</li> </ul> | <p><b>【目標】</b></p> |

|  |  |  |
|--|--|--|
|  | <p>には人手不足になる。収穫管理や出荷作業で、5名程度の女性を雇用したいと考えている。</p> <p><b>【具体的に実施する取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 働きやすい環境の整備に向けた社内検討会 適時</li> <li>・ 求人広告への掲載 通年</li> <li>・ 奈良県就農相談会への出展 2回（2月、8月）</li> <li>・ 地域農業者との情報交換 適時</li> <li>・ 農業法人との情報交換 適時</li> </ul> |  |
|--|--|--|

（注）3の取組を踏まえ、5の目標の達成のために実施する取組内容を具体的に記載する。

#### 5 女性農業者確保の目標（注）

|  |         |    |
|--|---------|----|
| 翌年度末までの女性農業者の新規確保人数（注）   | 事業実施年度  | 1人 |
|  | 事業実施翌年度 | 3人 |
|  | 合計      | 4人 |
| （女性農業者の新規確保人数の内訳）<br>自営農業就業者        人、雇用就農者        人、 アルバイト等        4人 |         |    |

（注）事業実施年度の翌年度末までの新規確保人数。

#### （参考）

|  |  |
|--|--|
| <b>上記女性農業者確保の目標に係る女性の確保の計画</b><br>（第4の（1）「施設等確保の取組」のみ記載）                                     |  |
| <b>【事業実施年度】</b><br>（取組予定業務）小菊・花木の生産管理<br>（採用時期）        令和5年3月～8月<br>（人数）                2名   |  |
| <b>【事業実施翌年度】</b><br>（取組予定業務）小菊・花木の出荷作業<br>（採用時期）        令和5年4月～12月<br>（人数）                2名 |  |

※必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付すること。

※国が必要と求める資料については、求めに応じ、遅滞なく提出しなければならない。